

第16回 GX 実行会議 GX 戦略推進に関する意見 ~千葉県における実践と地域金融機関の役割~

株式会社 千葉銀行
取締役専務執行役員グループ CSuO
淡路 瞳

1. 国の GX 推進方針への支持と千葉県における可能性

政府が掲げる GX (グリーントランスマーケティング) 戰略は、「エネルギー安定供給」「経済成長」「脱炭素」の三位一体での実現を目指すものであり、国の明確な方向性を全面的に支持し、その推進を強く歓迎いたします。国際情勢が「グリーン」に加えて「エネルギー安全保障と経済成長」を重視する方向へ深化する中、日本の GX 戰略が世界をリードする取り組みとなることに大きな期待を寄せております。

GX 戰略で示された、ペロブスカイト等国産エネルギー開発、GX 産業クラスター創出、次世代航空機の生産技術開発といった施策は、いずれも千葉県に深く関係し、地域経済の持続的成長に大きく貢献すると確信しております。

具体的には、ペロブスカイト太陽電池に必要なヨウ素は千葉県が国内最大の産地であり、国産エネルギー開発は千葉県の産業集積と雇用創出の核となり得ます。また、京葉工業地域にはコンビナート跡地などの産業資源が豊富にあり、これらを活用した GX 素材生産やデータセンター集積、脱炭素電源を活用した新たな産業立地は、まさに「GX 産業クラスター」創出の好機です。さらに、成田空港周辺における次世代航空機の生産技術開発は、航空宇宙産業における新たなサプライチェーンを構築し、地域の国際競争力を高める上で極めて重要です。

これらの取り組みは、今回創設される「GX 戰略地域制度」によって、地域の事情に応じた新たな産業振興として具体化されることが期待され、この制度が地域経済の活性化と GX の強力な推進力となることを確信し、その成功に向けて積極的に貢献してまいります。

2. 地域自治体への支援と地域金融機関の役割

GX 戰略地域制度を実効性のあるものとするためには、制度の周知に加え具体的なノウハウや人的支援が不可欠です。多くの自治体では、既存行政サービスで手一杯であり、新たな GX 事業に取り組む専門知識や人的資源が不足しています。

この状況において、地域金融機関がその役割を担うべきと考えております。地域金融機関は長年の地域企業経営支援や地域活性化の経験・知見を有しており、企業間の連携、産学官連携、地域住民との合意形成の「触媒」機能を果たすことができます。具体的には、GX 関連プロジェクトの組成支援、企業への資金供給、異業種間のマッチング、自治体と企業の橋渡し役として、事業計画の具体化から資金調達、実行までを一貫してサポートし、地域全体の GX 推進を側面から支援してまいります。地域の課題解決による活性化は地域金融機関の成長の源泉であり、持続可能な地域社会の実現に向けた共通の目標であると認識しております。

3. エネルギー確保と企業の成長：中小企業の課題と地域金融機関の視点

GX 時代において、エネルギーの安定確保は企業の成長に直結する基盤となり、電力を確保できる企業が競争優位性を確立する世の中にシフトしています。

しかし、多くの中小企業にとってエネルギーは未だ「コスト」であり、再生可能エネルギー発電事業は「投資運用」という位置付けに留まり、自社電源としての取り組みが成熟していません。そのため、一定の利益を得た事業者は発電事業を売却し、エネルギーの地産地消が進んでいないのが現状です。投資目的だけにならない発電事業への参入促進の在り方について議論を進めることが必要であると考えます。千葉銀行は、再生可能エネルギーの導入がエネルギーコストの安定化、サプライチェーン全体の脱炭素化、企業ブランドイメージ向上に繋がることを中小企業に提示し、事業計画策定から資金調達までを支援してまいります。

4. 銚子市における GX 推進の可能性と地域金融機関からの要望

千葉県銚子市では、期待された大規模洋上風力発電プロジェクトが白紙となりました。しかし、銚子市は水産加工業が中小企業を中心に集積し、大量の電力を必要としているため、新たな道筋を模索しています。もし、再生可能エネルギーでの電力調達が実現すれば、中規模ながらも産業集積と再生可能エネルギー調達が両立する、まさに GX の理想的なモデル地域となる可能性があります。

銚子市が地元事業者等と連携し、地場産業への陸上風力によるエネルギー供給に挑戦しようとしている動きは、地域主導の GX 推進の好事例であり、千葉銀行としても最大限の支援を検討してまいります。トランジションファイナンスや GX 戰略地域への支援が、大型案件に偏ることなく、特に人口減少に直面している地域に着目した支援となるよう、国に対して強く要望いたします。

5. 千葉県にとっての GX 推進における課題・問題点

GX 推進は千葉県にとり大きなチャンスである一方、克服すべき課題や潜在的な問題点も存在します。

- 既存産業構造からの転換の難しさ：京葉工業地域の脱炭素化は喫緊の課題ですが、大規模な設備投資や技術開発、サプライチェーン全体の再構築には莫大なコストと時間が必要であり、短期的な転換は困難です。この過程での雇用への影響も懸念されます。
- エネルギーインフラの整備とコスト：再生可能エネルギー導入のポテンシャルは高いものの、大規模な導入には送電網の強化や蓄電池設備の増設など、膨大なインフラ投資と時間が必要です。これに伴う電力コストの変動は、産業界の競争力維持に影響を及ぼす可能性があります。
- 用地確保と住民理解：大規模な再生可能エネルギー設備には広大な土地が必要ですが、千葉県は都市近郊の人口密集地も多く、用地確保が容易ではありません。また、景観や環境への影響に関する住民との合意形成も不可欠であり、これには時間を要する可能性があります。
- 技術開発・人材育成の遅れ：GX 推進に不可欠な先端技術の実用化にはさらなる研究開発と投資が必要であり、これらの技術を担う専門性の高い人材の育成と確保も課題となります。

これらの課題に対しては、国や県、そして地域の事業者が連携し、具体的な解決策を共に模索し、千葉県が GX の先進地域となるよう、積極的に貢献していきたいと考えます。